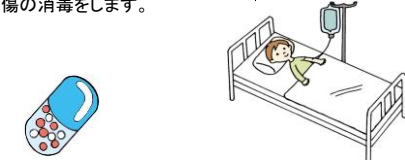





【 腰部脊柱管狭窄症 】

腰部脊柱管狭窄症は、加齢、労働、あるいは背骨の病気による影響で変形した椎間板と、背骨や椎間関節から突出した骨などにより、神経が圧迫されたことで症状がおこります。もっとも特徴的な症状は、歩行と休息を繰り返す間歇性跛行(かんげつせいはこう)です。歩行障害が進行し、日常生活に支障が出てくる場合には手術を行うこともあります。また両足に症状が出ている場合には改善することが少ないので手術を行う場合が多いわけです。当院では年間約180例の手術を行い、患者さんはこのような入院生活を送ります。




整形外科		腰椎椎弓形成術を受ける患者さんへ						患者様用	No. 1	
お名前:		主治医:		担当看護師:						
項目	月日	入院当日	入院2日目	入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目			
		入院日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目		
達成目標		・手術の準備ができる	・不安なく手術に臨める	・苦痛・創痛がコントロールされている						
治療 ・薬剤(点滴・内服) ・処置 ・リハビリ		・主治医の診察があります。 ・持参されたお薬は薬剤師に御見せ下さい。 ・麻酔科で診察を行います。 ・手術前までにコルセットの準備が必要です。	・朝から点滴を行います。特に指示されたお薬以外は飲まないでください。 ・手術前に検温します。	・持続の点滴を行います。 ・医師の指示により酸素吸入を行います。 ・フットポンプを足につけます(24時間)。	・点滴を行います(終了後点滴の針を抜きます)。 ・傷の消毒をします。 ・術前から飲んでた薬がある方は朝から再開します。 ・痛み止めの内服を開始します。 ・フットポンプを外し、弾性ストッキングを装着します。	・傷の消毒をします。				
検査		・心電図・肺機能検査 ・レントゲン撮影・採血 (外来で行っている方は不要です。)			・採血		・採血			
活動 ・安静度			・手術室へは車椅子、または歩いて行きます。	・ベッド上安静です(起き上がること、横になる事はできません)。 ・腰が動かないように枕で固定させていただきます。	・ベッドの高さを30度まで上げられます。横を向くときは、看護師がお手伝いしますので、御一人では寝返りをうたないでください。 ・夜間、無意識に腰が動かないように固定させていただきます。 ・排便時、便器を当てる程度の腰上げは可能です。	・コルセットをつけて歩行器で歩行をします。 ・コルセットは医師の許可があるまで外さないでください。 ・腰を曲げたりねじることはできません。				
食事		・治療食の方以外は制限はありません。	・0時から絶食です。 ・5時まで飲水可能です。 	・医師の指示があるまで、絶食です。	・お腹の動き(おならの有無)が確認できたら、食事が始まります。 ・ベッドを30度しか上げることが出来ないため、鏡を見ながらお食事を摂っていただきます。	・ベッドを30度しか上げることが出来ないため、鏡を見ながらお食事を摂っていただきます。	・治療食の方以外は制限はありません。			
清潔		・手術前日は入浴してください。 ・爪を切ってください。		・看護師が洗面のお手伝いをします。	・看護師が身体を拭きます。 ・お小水の管が入っているため、感染予防のために陰部洗浄を行います。	・看護師が身体を拭きます。 ・お小水の管が入っているため感染予防のために陰部洗浄を行います。	・看護師が身体を拭きます。		・弾性ストッキング内を拭きます。	
排泄		・眠前に下剤を内服します。	・手術室に行く前におトイレを済ませてください。	・尿は管が入っているので自然に流れます。 ・便の時はベッド上で便器を使います。			・尿管を抜いて、トイレに行くことができます。 ・初尿の確認を行います。	・トイレに行くことができます。		
患者様及びご家族への説明・栄養指導・服薬指導		・お名前を確認するためのバンドを腕につけてさせていただきます。 ・看護師が、入院生活・病棟生活の説明、手術についての説明をします。 ・診察後、主治医が治療方針・手術について説明します。 ・手術室の看護師が手術について説明します。 ・手術後起き上がることが出来ないため、内服薬がある場合、管理方法について相談させていただきます。 ・状況に応じて手術後の安静の状態を経験していただきます。	・入れ歯・眼鏡・時計などの装飾品はお外してください。 ・貴重品はセーフティーボックスに入れ、鍵はご家族にお預けください。 ・手術室入室後にお名前をお伺いします。 ・ご家族の方は手術終了まで7階のデイルームでお待ちください。 	・食事摂取後にご気分が悪くなりましたら、すぐにお知らせください。			・看護師と歩行器で歩行をします。歩行時の注意事項について説明します。 ・起き上がる時やベッド上で動くときには必ずコルセットを着用します。 ・夜間睡眠時や安静時にはコルセットを外しても構いませんが、その際は腰をひねったり曲げることは避けてください。			

腰椎椎弓形成術を受ける患者さんへ

お名前:

主治医:

担当看護師:

項目	月日	入院7日目	入院8日目	入院9日目	入院10日目	入院11日目	入院12日目	退院日	
		手術後5日目	手術後6日目	手術後7日目	手術後8日目	手術後9日目	手術後10日目	手術後11日目	
達成目標		・苦痛・創痛がコントロールされている			・退院後の生活について理解できる				
治療 ・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ								・退院時の処方があるときは、お渡しします。 	
検査			・採血 ・レントゲン撮影				・採血		
活動 ・安静度		・コルセットをつけて歩行器で歩行をします。 ・コルセットは医師の許可があるまで外さないでください。 ・腰を曲げたりねじることはできません。		・歩行が安定してきたら、歩行器なしでの歩行が可能となります。コルセットはしばらく装着したままとなります。					
食事		・治療食の方以外は制限はありません。						→	
清潔		・弾性ストッキング内を拭きます。 					・シャワー浴は可能になります。 ・シャワー浴方法については看護師が説明します。 ・弾性ストッキングは原則退院時まで着用となります。医師の指示がなければ、退院後は着用しなくても構いません。		
排泄		・トイレに行くことができます。						→	
患者様及びご家族への説明・栄養指導・服薬指導				・看護師が退院後の生活について説明します。			・主治医から退院についての説明があります。	・お大事になさってください。	

ご質問やご不明な点がありましたら、医師または看護師にお伝えください。予定は、お身体の状態や検査の状況で変更となる場合がございます。ご了承ください。